

四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校
校訓 自主・自律 協同

新座市立第四中学校学校だより 令和5年4月10日 第1号
TEL 048-477-6053 URL www.c-niiza.ed.jp/j-daiyon



顔を合わせて

校長 鮫島 弘樹

今が旬の野菜、スナップエンドウを手にとって、少し力を入れると「パキッ」と小気味よく半分に折れます。Snap には「パキッと音を立てる」や「折れる」といった意味があるそうです。

スーパーの野菜売り場で、店員さんとやり取りしている方がいました。「これ、茹でる以外においしい食べ方ある？」指をさしていたのがスナップエンドウの大きなパックです。店員さんの説明の中に、「鶏肉」や「ベーコン」といった単語が含まれているのが聞こえてきました（聞き耳を立てたという訳ではなく、2人の声がとても大きかったのです）。

このように、店員さんなどに気軽に声をかけ、どんどん質問しながら商品を選ぶ人がいます。一方で、ひたすら静かに商品を眺め、手に取って裏の説明書きを丹念に読み、隣の品と見比べながらじっくりと検討する人もいます。

どちらのタイプであっても、自分にとって満足のいく買い物ができそうです。

新年度が始まりました。166名の新生徒だけでなく、2・3年生にとっても、今日から新しい学年、新しいクラスでの生活がスタートします。

世の中には、たとえそこに集まった全員が初対面どうしであっても、まるで以前からの知り合いであったかのように気軽に周囲に話しかけ、自然体で振る舞える人がいるものです。

それとは逆に、まずはじっくりと、物静かに周りの様子をうかがう人もいます。

様子が分かってきたところで、徐々に自分らしさを発揮していくのです。

どちらのタイプの方がよい、ということはありません。それぞれ自分に合ったペースや接し方で、新たな人間関係を築いていけばよいと思っています。

その時、「クラスの中に気の合いそうな人がいないかも」といった見方をする、自分で自分の気持ちを重たくしてしまいそうです。また、常に気難しい顔をして、近寄り難い空気を作ってしまうのも、好ましいことではありません。

「面白そうな人がいるかも」と、まずは新たな生活に期待を抱いてもらいたいものです。その上で、自分も周りも、お互いが心地よく過ごせるような環境づくりを、心がけて欲しいと思っています。

新たなメンバーで初めて集まることを、「顔合わせ」といいます。学校では、この4月から考え方が更新され、基本的にマスクの着用は不要となりました。

これまで長らく、顔の半分が隠れた状態が続いていました。ようやく文字通り、お互いに表情を見せ合いながらの「顔合わせ」となり、これまで以上にコミュニケーションが取りやすくなるはずです。

そのことから、第四中の教育活動が新たな段階に入ったことを実感します。

子供たちの表情をよく見ながら、教育の質の向上に引き続き取り組んでまいります。今年度も1年間、どうぞよろしくお願いいたします。